

(別紙)「ジェンダー平等と共生のまちTAKARAZUKA」に対するパブリック・コメント手続きに基づく意見募集の結果一覧表

・意見の募集期間 令和8年(2026年)1月13日(火)～2月13日(金)  
 ・提出意見件数 26件

※ ご意見ありがとうございます。

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
1	計画全般に関すること	—	—	第3次宝塚市男女共同参画プラン(案)を読んで、性別に関係なく誰もが安心して暮らせる社会を目指している点がとても大切だと感じました。特に、仕事や家庭、地域での役割を男女で分けずに考える姿勢は、今の社会に合っていると思います。ただ、計画の内容が少し難しく感じる部分もあり、具体的に市民が何をすればよいのかが分かりにくいと感じました。学校や地域での取り組み例などがもう少し分かりやすく書かれていると、若い世代にも伝わりやすくなると思います。この計画が市民一人ひとりの意識を変えるきっかけになれば良いと感じました。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画について、ご理解をいただきありがとうございます。 引き続き、学校や地域における具体的な取組例の発信など、分かりやすい情報提供に努め、市民の皆様の本計画の趣旨がより伝わるよう取り組んでまいります。	
2		—	—	私は、「ジェンダー平等と共生のまち TAKARAZUKA」という宝塚市の取り組みは、理念だけでなく実際の暮らしに目を向けた点で評価できると考える。性別にとらわれず一人ひとりの生き方を尊重する姿勢を明確に示すことで、市民が「違いはあってよいものだ」と感じられる土台をつくっているからである。一方で、制度や方針があっても、市民一人ひとりに十分理解され、日常の行動にまで反映されなければ意味は弱くなる。今後は、若者や男性も含めた参加の場をさらに広げ、対話や学びを通して共生の意識を深めていくことが重要だと考える。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本市の取組について、ご理解をいただき、ありがとうございます。 また、制度や方針を市民一人ひとりの理解や日常の行動につなげていくことの重要性や、若者や男性も含めた参加の場を広げる必要性についてのご指摘は、重要な視点であると認識しております。 引き続き、対話や学びの機会を通じて、多様な市民の皆様とともに共生の意識を育む取組を進めてまいります。	
3		—	—	私は基本理念である「すべての人が性別にとらわれず、自分らしく暮らせるまち」の大切さをより実感した。そのためには、自分らしさを感じる場面を作る必要があると思う。例えばなんでもOKな日をつくることにより、服装・髪型・名前の呼び方を自由にするなど、自分らしさを体験する日をつくることと良いと感じる。このような意見は前述した基本理念を理解することで考えた。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画について、ご理解をいただき、ありがとうございます。 また、服装や髪型、呼び方などを自由にすることで「自分らしさ」を体験できる場や機会を設けるといご提案は、理念を身近なものとして理解し、日常の中で実感していく上で重要な視点であると受け止めております。 引き続き、市民の皆様が多様な価値観を尊重し合い、自分らしく過ごせる社会の実現に向け、取組を進めてまいります。	
4		—	—	「すべての人が性別にとらわれず、自分らしく暮らせるまち」ということで、ジェンダーの問題に悩む方々に寄り添う理念に魅力を感じました。期間を設けることで、ちゃんと実現をしようとする姿勢に感心しました。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画の理念について、ご理解をいただき、ありがとうございます。 引き続き、市民の皆様の声を踏まえながら、計画的に取組を進めてまいります。	
5		—	—	ジェンダー平等に向けた高い数値目標の設定を高く評価します。特に「学校での授業実践率100%」や「男性育休85%」の提示は、次世代の意識変革と組織の範を示す強い意志を感じます。今後は、市民意識調査で課題となった「相談窓口の認知不足」を解消するため、SNSの活用や地域との連携による広報強化を求めます。多様な視点が反映される「誰もが自分らしく生きられるまち」の実現に向け、着実な遂行を期待します。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 相談窓口の認知不足に関するご指摘は重要な課題と受け止めており、今後はSNSの活用や地域との連携など、効果的な情報発信に努めてまいります。 引き続き、誰もが自分らしく生きられるまちの実現に向け、取組を進めてまいります。	
6		—	—	今回の計画案は、「性別にとらわれず、すべての人が自分らしく暮らせるまち」を基本理念として掲げており、現代社会の課題を的確に捉えた内容だと感じました。とくに、ジェンダー平等を単なる男女の問題としてではなく、「誰もが安心して暮らせる社会の実現」や「多様な人が尊重されるまちづくり」と結びつけている点に共感しました。社会の中には、性別による役割分担意識や無意識の偏見が今も残っており、それが進学・就職・家庭生活など様々な場面で生きづらさにつながっていると感じることがあります。そうした中で、この計画が市の総合計画や関連法と連動しながら進められることは、実効性を高める上で重要だと思います。一方で、計画の理念を市民一人ひとりの意識の変化につなげるためには、学校教育や地域での啓発活動をより充実させる必要があると感じました。制度や仕組みだけでなく、日常の中で「性別にとらわれない考え方」が自然に共有される環境づくりが進むことで、この計画の目指す社会がより現実的なものになるのではないかと思います。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画の基本理念について、ご理解をいただき、ありがとうございます。 また、性別による役割分担意識や無意識の偏見への対応、学校や地域における啓発活動の重要性についてのご意見は、重要な視点であると受け止めております。 引き続き、関係計画等と連動しながら、制度とあわせて意識啓発や学びの機会の充実に取り組み、計画の推進に努めてまいります。	
7		—	—	DV被害にあった人たちの支援の充実についてとても良い取り組みだと思ったので、DV被害にあった人たちの支援だけでなく、現在DV被害にあっていない人たちの相談できる支援もあれば対策できると思いました。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本市では平成23年からDV対策に取り組み、DV相談室をはじめ、被害者の自立に向けた支援を実施してきました。DV被害にあっていない方々が安心して相談できるよう、関係機関と連携し、より幅広い支援体制を整えています。今後も、被害者の方々が迅速に支援を受けられるよう、さらに相談窓口の充実や支援体制の強化を進めていきます。	

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
8	計画全般に関する こと	—	—	第3次宝塚市男女共同参画プラン(案)では、「すべての人が性別にとらわれず、自分らしく暮らせるまち」を基本理念として掲げている点に強く共感しました。特に、ジェンダー平等をまちづくり全体に浸透させようとする姿勢や、DV被害者支援、困難を抱える女性への支援を明確に位置づけている点は重要だと感じます。一方で、若者世代や学生に対して、この計画の内容をどのように周知し、主体的な参画につなげていくのかについて、より具体的な取り組みが示されるとよいと考えました。学校やSNSを活用した発信など、若い世代が身近に感じられる工夫を期待します。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画の基本理念や取組について、ご理解をいただき、ありがとうございます。 また、若者世代や学生への周知や主体的な参画の重要性についてのご意見は、重要な視点であると受け止めております。 引き続き、SNSを活用した情報発信や啓発活動などを通じ、若い世代が参加しやすい取組を進めてまいります。	
9		—	—	誰もが性別という概念に捉われずに自分らしさを持って暮らせるまちをつくる事が出来ればとても過ごしやすくなると思います。女性相談支援室の相談支援の充実に重点を置く事で同性になら話しやすいと思って悩みを打ち明けやすくなると思うので、素晴らしいと思いました。 またDV等に対する十分な理解を得られていない人もいると思うので、政策を通して全ての人々が理解を深められたらベストだと思いました。その目標を実現する為に地域等での講演会が重要だと自分は思います。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 女性支援相談室では、家庭問題や生活困窮などさまざまな困難を抱える女性からの相談を受け、自立に向けた支援を関係機関と連携して行っています。また、DVについては若年層を対象に「デートDV防止授業」を実施し、早期の啓発活動にも力を入れています。 引き続き、相談支援の充実に図るとともに、講演会等を通じて市全体で理解を深める取組を進めてまいります。	
10		—	—	とてもいい案だと思いました。ジェンダーに対して、行きやすいと思う人が1人でも増えたらいいと感じました。ただ、ジェンダー自体、理解していない人も多いかと思います。そのため、まずどういったジェンダー問題があるのかを理解して貰う必要もあるのではないかと感じました。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画について、ご理解をいただき、ありがとうございます。 引き続き、分かりやすい情報発信や学びの機会の充実を通じて、市民の皆様の理解促進に努めてまいります。	
11		—	—	よりジェンダー平等な社会環境を作るに当たり、法律婚夫婦の強制的同性制度を前提とみなしていることに異議があります。政策上も世論でも議論になっている法律の改正を進める必要があると考え、ジェンダー平等と共生のまちタカラヅカには、現状の日本社会に対して男女共同参画がより具体化するようなアイデアを前面に出してほしいです。結婚によって夫婦同一姓に強制的に変えることで、男性にも女性にもキャリアを中断したり自己喪失の危機があり、実際困っている人々が存在します。また、婚姻や離婚で姓の変更を希望するのではなく余儀なくされる場合は、姓を変える大人だけでなく子どもも離婚家庭の精神的経済的ダメージに加えプライバシーを晒されるという更なるマイナス面がずっとありました。本当に多様性に寛容な社会になれば、もっと婚姻や妊娠や出産そして子育てのハードルが低くなると考えます。若い世代に、より多くの選択肢を与えることを大事にするという姿勢をぜひ表明してほしいと考えます。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 婚姻に伴う姓の取扱いについては、重要な問題であると認識しております。 本計画は、多様な生き方や選択が尊重される社会の実現をめざしています。 引き続き、こうした問題について市民の理解を深めるための情報発信や対話の機会を通じ、若い世代を含め多様な選択肢を大切にできるよう、計画の推進を図ってまいります。	
12		—	—	本計画案は、「ジェンダー平等と共生のまち」を掲げ、性別に捉われず誰もが安心して暮らせる社会を目指す方向性が明確に示されており、大変意義深いものだと感じました。特に、政策決定過程への女性の参画促進や、困難な問題を抱える女性への支援を重点施策として位置づけている点は賞賛できます。 一方で、「ジェンダー平等」の理念を市民にどのように浸透させていくかについてもう少し検討が必要だと考えました。施策としての取組は多く示されていますが、学校教育や地域活動、広報などを通じた継続的な意識啓発の具体策を、もう一歩踏み込んで示していただくと、実効性が高まると考えます。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画について、ご理解をいただき、ありがとうございます。 引き続き、学校における学習機会の充実や、地域での講座・ワークショップの実施、広報媒体を活用した分かりやすい情報発信などを通じ、継続的な意識啓発に取り組み、計画の実効性を高めてまいります。	
13	—	—	本計画では、男性の意識改革や若年層への啓発の重要性が繰り返し述べられていますが、具体的な手法や対象像がやや曖昧であるように感じました。実際に、市民意識調査では男性の講座参加率やジェンダー問題の認知度が低いことが示されており、従来と同じ形式の講座や広報では限界があるのではないかと思います。 また、若者や学生の立場から見ると、男女共同参画施策は「大人向け」「家庭や職場の話」という印象が強く、自分たちの日常生活や将来の進路とどのようにつながるのかが見えにくいと感じました。学校教育以外にも、SNSや動画配信、学生が関わるイベントなど、若者が自然に触れられる形での発信や参加の仕組みを強化することが重要ではないでしょうか。 男性や若者を「理解を促される側」として位置づけるだけでなく、当事者として意見を表明し、施策づくりに関わる場を設けることで、ジェンダー平等がより身近で実感を伴うものになると考えます。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 男性の意識改革や若年層への啓発の重要性についてのご指摘は、本計画においても重点的に位置づけている点であり、具体的な手法や対象像の明確化が必要であるのご意見は、重要な課題として受け止めております。 市民意識調査の結果を踏まえ、従来の講座や広報に加え、SNSや動画配信等を活用した情報発信の強化や、若者や男性が関心を持ちやすいテーマ設定による啓発手法を検討してまいります。 あわせて、男性や若者が当事者として意見を表明し、施策づくりに参画できるよう、意見交換会やワークショップ等を通じた対話の機会を設け、理解促進と行動につながる取組を進めてまいります。		
14	—	—	第3次宝塚市男女共同参画プラン(案)を読み、性別にとらわれず一人ひとりが尊重される社会を目指す姿勢が、具体的な施策とともに示されている点に意義を感じた。特に、就労や子育て、介護など生活のさまざまな場面で生じる不平等を、個人の努力に委ねるのではなく、社会全体の課題として捉えている点が重要だと考える。一方で、制度や方針が示されていても、市民一人ひとりに十分に認知されなければ実効性は高まらない。今後は、若者や学生にも届く広報や教育の機会を充実させることで、男女共同参画が「特別なテーマ」ではなく、日常の価値観として根付いていくことを期待したい。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画について、ご理解をいただき、ありがとうございます。 制度や方針の認知が不十分では実効性が高まらないのご指摘については、重要な課題であると認識しております。 引き続き、学校教育や地域での学習機会の充実に加え、SNS等を活用した情報発信を行うなど、若者や学生に届きやすい方法による啓発に取り組んでまいります。		

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
15	計画全般に関すること	—	—	ジェンダー平等と共生のまちTAKARAZUKA(第3次宝塚市男女共同参画プラン)について、計画の内容が理念的である分、市民、特に若者がどのように計画に関わり、行動につなげていけばよいのかが分かりにくいと感じました。学校現場での学習や、若者が参加しやすいワークショップ、SNS等を活用した情報発信など、より身近に感じられる具体的な取り組みを充実させることが必要だと考えます。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 学校現場における学習機会の充実や、若者が参加しやすいワークショップ・イベントの実施などを通じて、ジェンダー平等を身近にとらえられる取組を進めてまいります。 あわせて、SNS等を活用した情報発信により、若者に届きやすい形での啓発を行い、行動につながる環境づくりに努めてまいります。	
16		—	—	男女共同参画センターの充実に関して、図書などの資料より各個人における性指向等を考える場があるのはいいことであると考えます。しかしながら、昨今では単純に男女という枠組みでは男女の格差是正を行うことは難しくなっているように思われます。そのため、LGBTQ+などの性自認が曖昧な方々に対して寄り添える活動を行うことが今後の多文化共生などの社会においては重要事項になると考えられます。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 多様な性等に配慮した施設運営や啓発事業等の検討を行い、すべての市民が安心して利用できる環境づくりに努めてまいります。 また、性の多様性に関する理解促進のための講座やワークショップの充実にも努めるとともに、誰もが安心して相談できる体制を進めてまいります。	
17		—	—	ジェンダーに囚われないということを掲げた案があり、とても興味深い内容でした。もちろん平等に働ける社会づくりも必要ですが、女性と男性には身体的な違いも多くあること、互いにその違いも認め合うことが必要だと思いました。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 ジェンダー平等の推進にあたっては、性別による身体的な特性への理解と尊重は、重要な視点であると認識しております。 引き続き、性別による役割分担意識にとらわれず、個人の能力や希望が尊重される社会をめざすとともに、働く環境や子育て支援などにおいて、身体的特性を含む多様性に配慮した施策の推進に努めてまいります。	
18		—	—	宝塚市は宝塚歌劇団があり、ジェンダーについての歴史は古く、宝塚歌劇団では女性が男役をすることもあり、女性が男性らしく振る舞うことが日常的ではなくともお客さんに見せることがあることからバイセクシャルやトランスジェンダーに近い形を表現したいと感じています。その中で、性別にとらわれず、自分らしく暮らせるまちを目指すことはとても素晴らしいことだと思う。宝塚市というまちだからこそ効果がある政策であると私は考えています。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画は、性別にとらわれない生き方や選択が尊重される社会の実現をめざしており、引き続き、本市の地域性も踏まえながら、啓発や広報、教育の場を通じて多様性への理解を深める取り組みを進めてまいります。	
19		—	—	具体的な対策として何を行うのか分からない。どのような規定を作成するか等を詳しく知りたい。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画は、「ジェンダー平等が浸透したまちづくり」「性別にとらわれず誰もが活躍できる環境づくり」「誰もが安心して暮らせる社会の実現」の3つを基本目標に掲げ、それぞれに施策の方向性と主要な施策を設定しています。 その下位には、「男女共同参画の視点に立った表現ガイドラインの活用」や「困難な問題を抱える女性への支援の充実」など、具体的な取組内容を個別事業として位置付け、年度毎に進捗を管理します。また、個別事業については公表し、取組んでまいります。	
20	—	—	(案)には82事業が挙げられているが、そのうち人権平和・男女共同参画課の担当は単独及び共同を含め33担当にも上る。人権平和の施策にかかわらず、男女共同参画もとなると、圧倒的にマンパワーが不足するのではないかと。男女共同参画を本気で推進するならば、講座一つとっても計画・立案からすると手間も時間もかかる。男女共同参画課を単独とするか、現在のままであるならばそれに見合う人員の配置が必要と考える。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 人権平和・男女共同参画課は、男女共同参画センターを所管しており、同センターを指定管理とし、啓発講座や情報発信、相談支援の拠点として事業を展開しています。啓発事業については、世論の動向や社会情勢、市民ニーズを踏まえながら内容を精査し、効果的なテーマ設定や実施方法の工夫により対応してまいります。 引き続き、限られた人員の中でも、関係部局との連携や事業手法の工夫を図りながら、計画の着実な推進に努めてまいります。		

No.	項目	ページ	行	市民等からの意見	市民等からの意見の採否及び理由	市民等からの御意見を受けての見直し結果
21		3	—	「宝塚市男女共同参画推進条例第3条4項」家族を構成する男女について、家族を構成するのが男女ではないこともある。男女と明記するのはどうか。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画は、性別や性自認、家族の形態にかかわらず、すべての人が尊重される社会の実現をめざしており、条例の趣旨についても多様な家族を包含する考え方に基づいて運用してまいります。 ご意見を参考にしながら、今後、条例の文言や解釈について、社会状況の変化を踏まえた整理や見直しの必要性を意識して取り組んでまいります。	
22		4	—	基本目標Ⅲの「配偶者からの暴力」とあるが、5ページにはDVと記されている。「配偶者からの暴力」→「DV」としたほうが良いのではないかと。	【ご意見ありがとうございます。修正いたします。】 ご指摘のとおり、本計画では「配偶者等からの暴力」を指す用語として、「DV」という表記を用いている箇所があります。「DV」は一般的に広く認知されており、市民にとって理解しやすい用語であることから、基本目標Ⅲにおいても「DV（配偶者等からの暴力）」と表記を修正いたします。	p4の基本目標Ⅲの「誰もが安心して暮らせる社会の実現」の説明文中「配偶者等からの暴力」を「DV（配偶者等からの暴力）」に修正。
23	特定の部分に関すること	8	—	「地域における男女共同参画推進リーダーの人数」はR4から4年間0のままである。目標達成を難しくしているものは何なのか。どう対処しようとしているのか。はたして「地域における男女共同参画推進リーダー」を必要と考えているのかさっぱり見えてこない。お題目を唱えているだけではないかと疑いにくくなる。ジェンダー平等が浸透したまちづくりは、まずは、地域からなされるべきであり、地域における男女共同参画推進リーダー作りを本腰を入れて進めていただきたい。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 ご指摘のとおり、「地域における男女共同参画推進リーダーの人数」については、これまで実績が上がっていない状況にあります。その要因として、特定の個人を「リーダー」として位置づける手法が、地域の実情や市民の参画のあり方と必ずしも合致していなかった点があると認識しています。一方で、ジェンダー平等を地域から浸透させていくことの重要性については、本市としても強く認識しております。 本計画では、特定のリーダー養成に重点を置くのではなく、地域団体、学校、事業者等と連携した講座や啓発事業、体験活動などを通じて、より多くの市民が主体的に関われる機会の拡充を重視しています。 今後も、幅広い世代への啓発を進めるとともに、地域全体で男女共同参画が実践される環境づくりに取り組んでまいります。	
24		12	—	宝塚市の男女共同参画プランの基本方針や7つの重点施策について目次として端的に書かれていた。宝塚市の方針等が一目で分かった。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画について、ご理解いただき、ありがとうございます。 引き続き、計画に基づく施策の進捗や成果についても、分かりやすい情報発信に努めるとともに、市民の皆様からのご意見を踏まえながら、より実効性の高い取組を進めてまいります。	
25		19~20	—	自己が形成されると言われている小学生のうちから、男女共同参画ことについて理解する教育を設けることは、これからの人生にとっても生きてくると思う、様々な考え方が許容されるんだと心が救われる子も多いと思うので大事なことだと思った。また、進路指導にあたっては、性別に関わりなく、子供自らが自由に選択できるように実施するとあったが、制服のスボン、スカート、ネクタイなど、その子のスタイルに合った服装を選べる自由なども男女共同の意識が高く見られて、とてもいいと思った。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 本計画では、学校教育における人権教育や男女共同参画の視点を重視し、発達段階に応じた学習や啓発の充実を進めるとともに、進路指導や学校生活全般において、子ども自身の意思や多様な選択が尊重される取組を関係機関と連携して推進してまいります。 引き続き、誰もが自分らしく安心して学び、成長できる教育環境づくりに努めてまいります。	
26		25	—	兵庫県にはミモザ企業認定制度・フレッシュミモザ認定制度があるが、残念ながら宝塚市にはミモザ企業はなく、フレッシュミモザ企業も2社だけである。ここでは啓発事業や支援が謳われているが、ジェンダー平等への取り組みを意識して推進するような制度があることを、雇用者に対してぜひ啓発し、市の施策としても積極的に取り入れて欲しい。	【ご意見ありがとうございます。今後の取組の参考とさせていただきます。】 兵庫県の「ミモザ企業認定制度」や「フレッシュミモザ認定制度」がジェンダー平等の推進に重要な役割を果たしていることについて、市としても、この制度を企業に積極的に利用していただきたいと考えています。 今後は、企業向けのセミナーや情報提供を通じて、ジェンダー平等と共生に対する理解の浸透をめざします。	